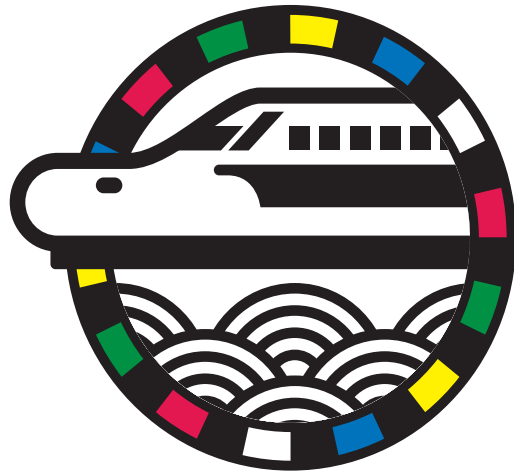
長崎市新幹線開業アクションプラン

ACTION PLAN

to NAGASAKI

令和3年3月　長崎市

Ver.1.1

ふらり長崎　それもいい

長崎市新幹線開業アクションプラン

はじめに

九州新幹線西九州ルート（武雄温泉 – 長崎間）が、2022年秋に開業します。

西九州ルートの開業により、博多 – 長崎間は最速で、現行より約28分短縮の約1時間20分で結ばれることとなり、観光客やビジネス客の増加といった交流人口の拡大などにより、地域経済の活性化が図られるものと期待されます。

このたび、長崎市では「交流の産業化」による長崎創生の取組みと連携を図りながら、この開業効果を最大化するため「長崎市新幹線開業アクションプラン」を策定しました。

アクションプランの策定にあたっては、長崎県のアクションプランと連動し、「市民の気運醸成」、「誘客促進」、「市内各地への周遊促進」、「訪問客の満足度向上」及び「産業の振興」の5つの方向性に沿いながら、長崎県や沿線市との連携・役割分担のみならず、相乗効果を高める民間の取組みについても、経済界や関係団体等との協議を踏まえ盛り込みました。

まちなかの魅力を向上させ回遊性を高める「まちぶらプロジェクト」など、これまで継続的に進めてきたまちづくりの取組みと連動するとともに、陸の玄関口としての長崎駅周辺のハード整備や新幹線で訪れる方に快適に滞在いただくための仕組みづくり、おもてなしの向上など多岐にわたる取組みを、官民一体となって推進します。

西九州ルートの開業当初は、武雄温泉駅での対面乗換方式による暫定開業となりますが、引き続き、全線フル規格の実現に向け、長崎県や沿線市とも連携を図りながら、取り組んでいきたいと考えています。

アクションプランの取組みについては、進捗管理に努めるとともに、今後の状況の変化に対応していくため、必要に応じ内容を見直していくこととしております。西九州ルートの整備方針の検討状況等を踏まえ、関係各位との協議を継続してまいりたいと思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。

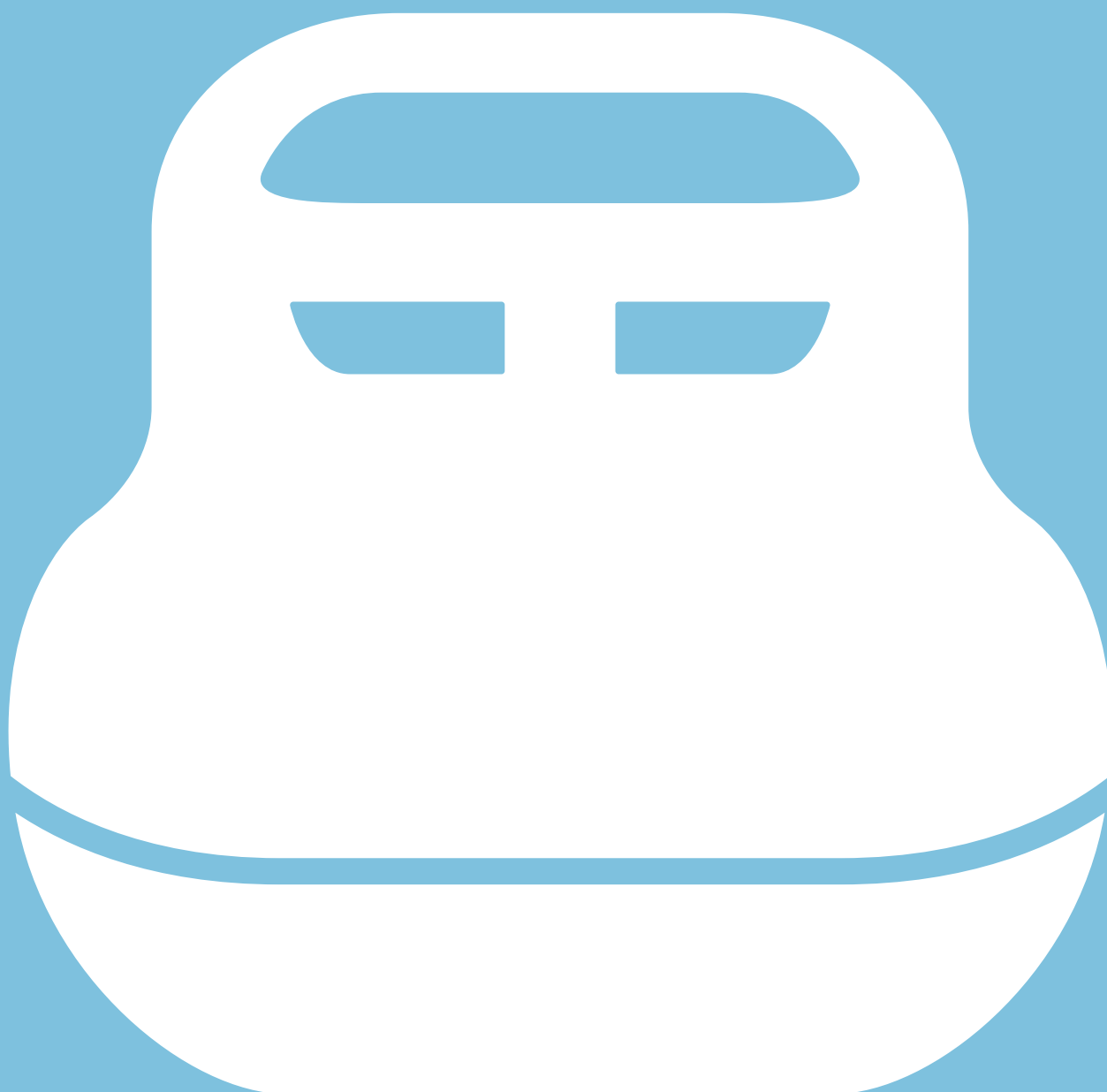
結びに、アクションプランの策定にあたり、貴重なご意見、ご協力を賜りました関係各位に、厚くお礼を申し上げます。

令和 3年 3月25日

長崎市長 田上富久

目次

第1章

九州新幹線西九州ルートの概要及び開業効果

1 整備新幹線

整備新幹線とは「全国新幹線鉄道整備法」に基づく昭和48年の「整備計画」により整備が行われている以下の5路線のことを指します。

路線	区間・状況
北海道新幹線	青森－札幌間 2016年3月に「新青森－新函館北斗」間が開業 2030年度末に「新函館北斗－札幌」間が完成予定
東北新幹線	盛岡 － 青森間 2010年に全線開業
北陸新幹線	東京－大阪間 2015年3月に金沢まで開業 2022年度末に「金沢－敦賀間」が完成予定
九州新幹線(鹿児島ルート)	福岡 － 鹿児島間 2011年に全線開業
九州新幹線(西九州ルート)	福岡－長崎間 2022年度に「武雄温泉－長崎」間が完成予定

(出典:国土交通省「整備新幹線概要図」)

九州新幹線西九州ルートの概要

九州新幹線西九州ルートは、西九州地域の産業振興や交流人口の拡大、活性化等につながる重要な交通基盤です。長崎－博多間の約143kmを結び、この内、長崎－武雄温泉間の約66kmをフル規格により整備を進め、2022年度に武雄温泉駅での対面乗換方式で暫定開業する予定となっています。

対面乗換方式

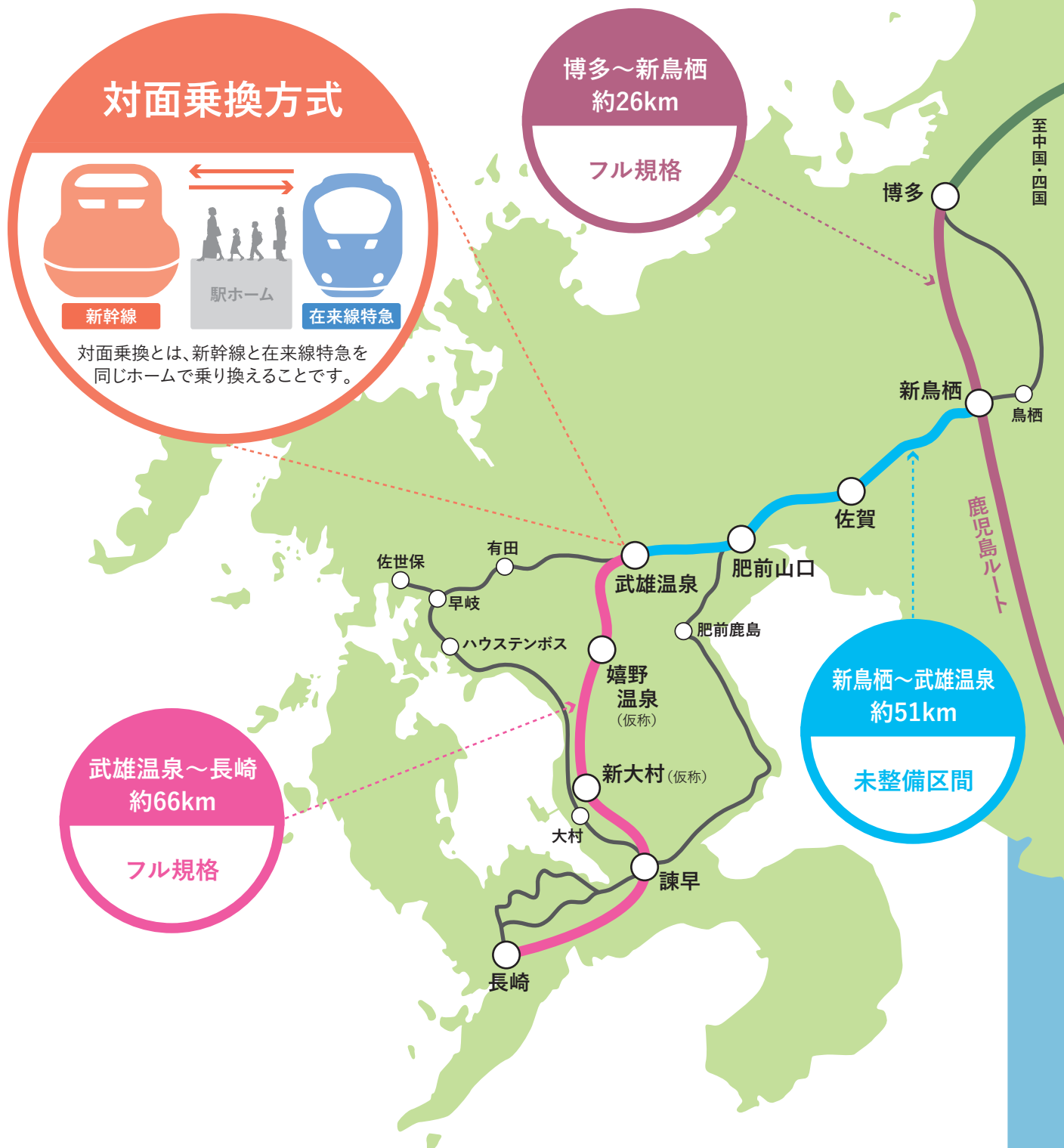
新幹線
駅ホーム
在来線特急

対面乗換とは、新幹線と在来線特急を同じホームで乗り換えることです。

博多～新鳥栖
約26km
フル規格

新鳥栖～武雄温泉
約51km
未整備区間

武雄温泉～長崎
約66km
フル規格

至中国・四国
博多
新鳥栖
鳥栖
鹿児島ルート
佐賀
肥前山口
肥前鹿島
武雄温泉
有田
佐世保
早岐
ハウステンボス
嬉野温泉（仮称）
新大村（仮称）
大村
諫早
長崎

（提供：長崎新幹線・鉄道利用促進協議会）

九州新幹線西九州ルートの開業効果

新幹線開業により、福岡、中国・関西地方と長崎間の所要時間の短縮や交流人口の拡大による地域活性化等が期待され、その効果は西九州地域の広範囲に及ぶものと考えられます。なお、鉄道利用の割合が多い、300～700km圏内には中国・関西地方が位置しています。

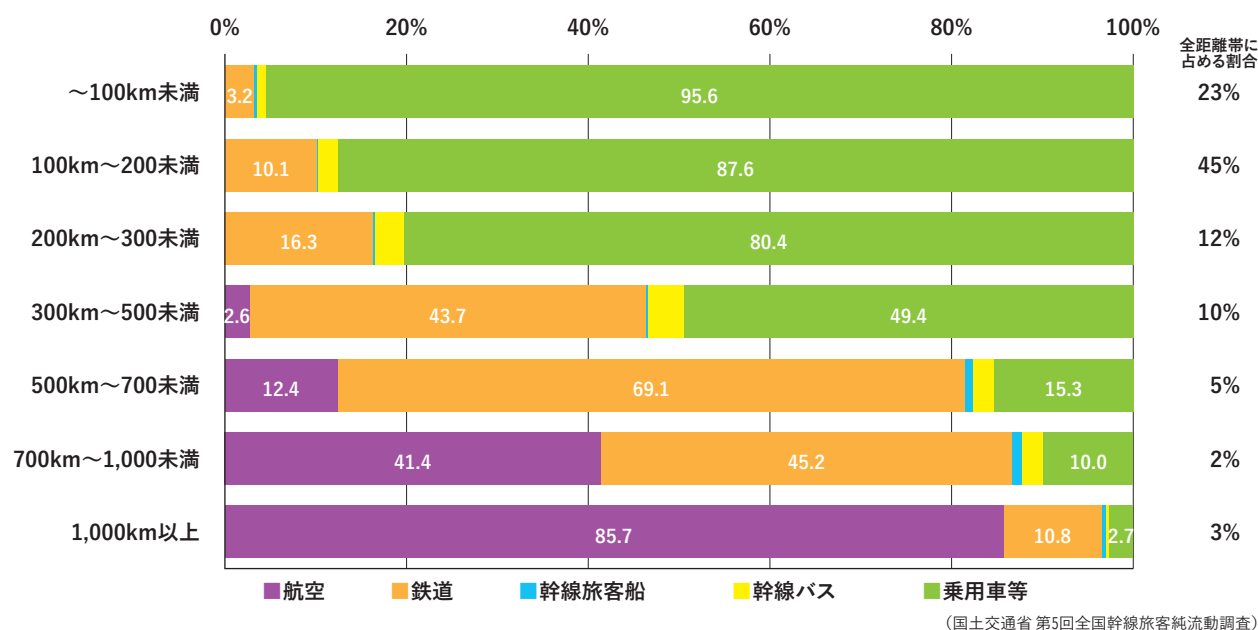
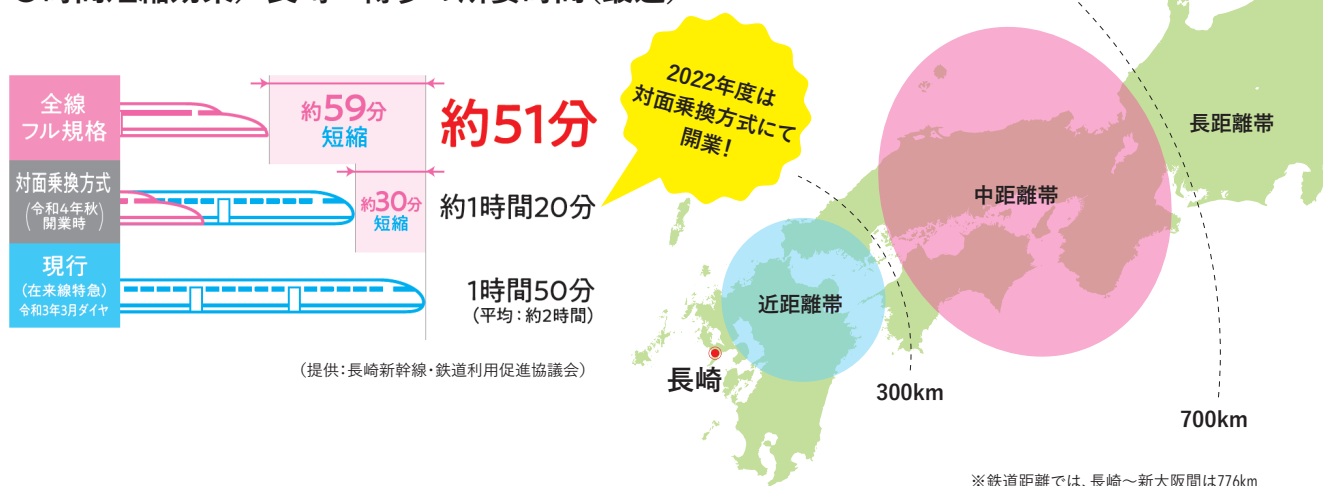
2004年に部分開業（新八代－鹿児島中央間）した九州新幹線鹿児島ルートにおいては、部分開業後の当該区間における鉄道利用者が約2.2倍と大きく伸びています。

このようなことから長崎市においても、時間短縮効果に伴う通勤通学の利便性向上による定住人口の拡大、交流人口の拡大による観光振興やビジネスの拡大など、新幹線開業の効果は大きいものと期待されます。

●時間短縮効果／長崎～博多の所要時間（最速）

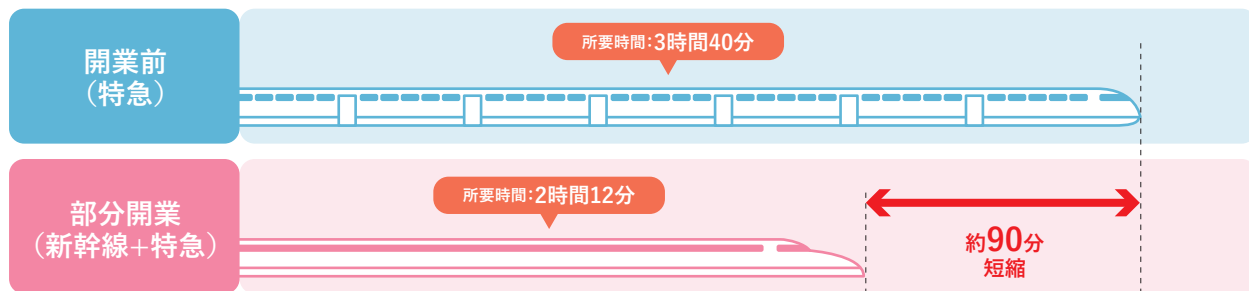
（提供：長崎新幹線・鉄道利用促進協議会）

※鉄道距離では、長崎～新大阪間は776km

（国土交通省 第5回全国幹線旅客純流動調査）

九州新幹線鹿児島ルートの事例

九州新幹線鹿児島ルートは2004年に南側区間で暫定開業し、全線開業した2011年まで、対面乗換方式（九州新幹線西九州ルートと同様）で採用されました。

❶ 所要時間の変化

新幹線開業前後の博多－鹿児島中央間の所要時間の変化は次のとおりです。

九州新幹線（新八代・鹿児島中央）事業に関する事後評価報告書（平成21年3月 鉄道・運輸機構）

❷ 鉄道の輸送量の変化

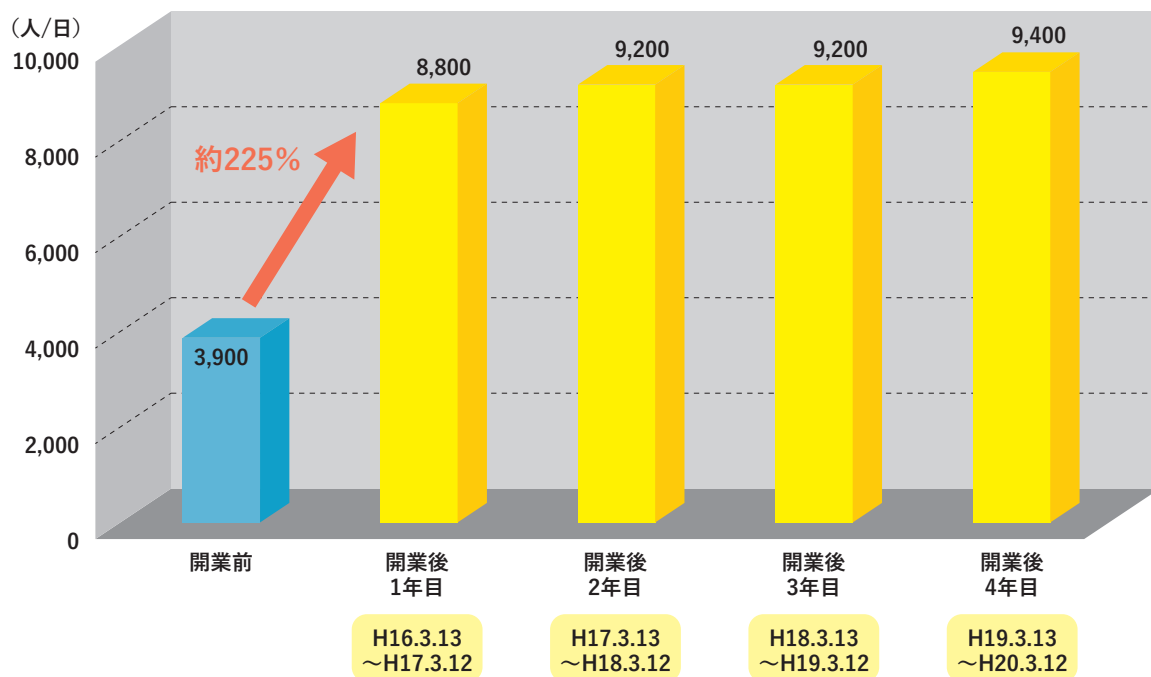
新幹線開業前後の新八代－鹿児島中央間の輸送人員の変化

開業1年目は対前年比225%増加しています。

開業前	開業1年目	開業2年目
平成15年	平成16年	平成17年
3,900人/日	8,800人/日	9,200人/日
	対前年比 225%	

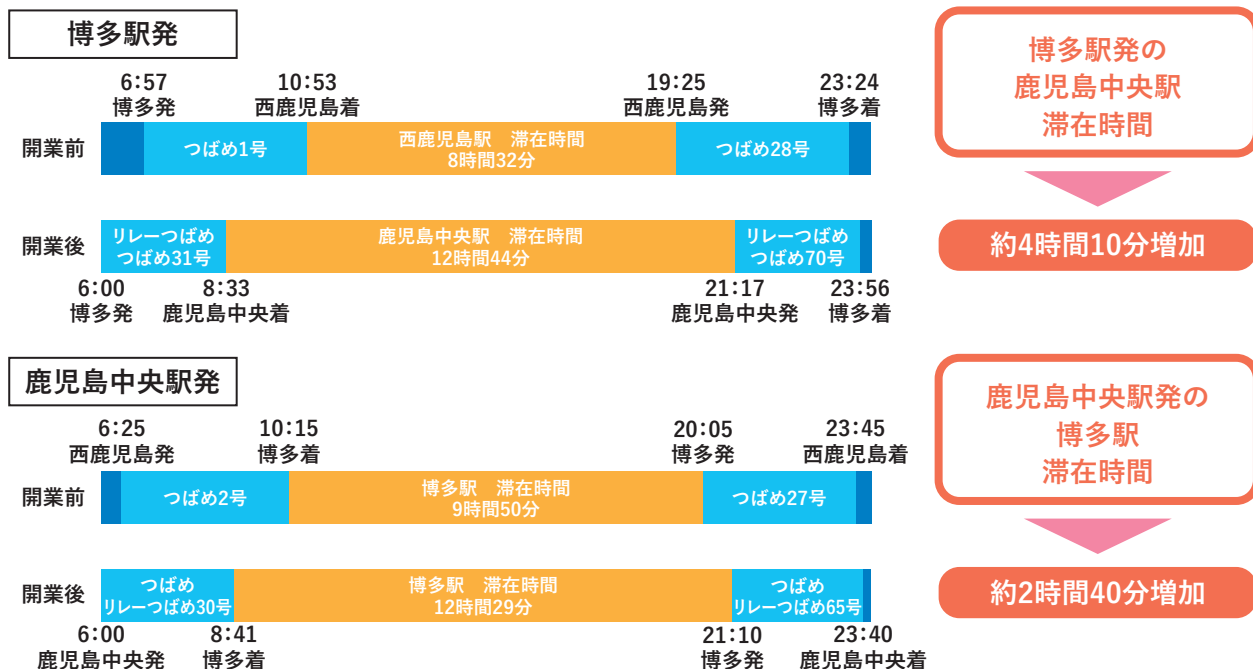
（人/日）

	開業前	開業後1年目	開業後2年目	開業後3年目	開業後4年目
期間		H16.3.13～H17.3.12	H17.3.13～H18.3.12	H18.3.13～H19.3.12	H19.3.13～H20.3.12
輸送人員	3,900	8,800	9,200	9,200	9,400

約225%

九州新幹線（新八代・鹿児島中央）事業に関する事後評価報告書（平成21年3月 鉄道・運輸機構）

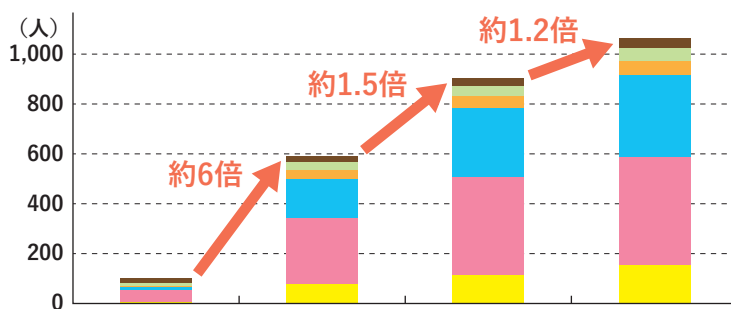
❸ 滞在可能時間の増加

博多駅発の鹿児島中央駅での滞在可能時間は約8時間30分から約12時間40分（約4時間10分の増加）と大幅に増加しています。

また、鹿児島中央駅発の博多駅での滞在可能時間も約9時間50分から約12時間30分（約2時間40分の増加）と大幅に増加しています。

九州新幹線(新八代・鹿児島中央)事業に関する事後評価報告書(平成21年3月 鉄道・運輸機構)

❹ 通勤・通学への影響

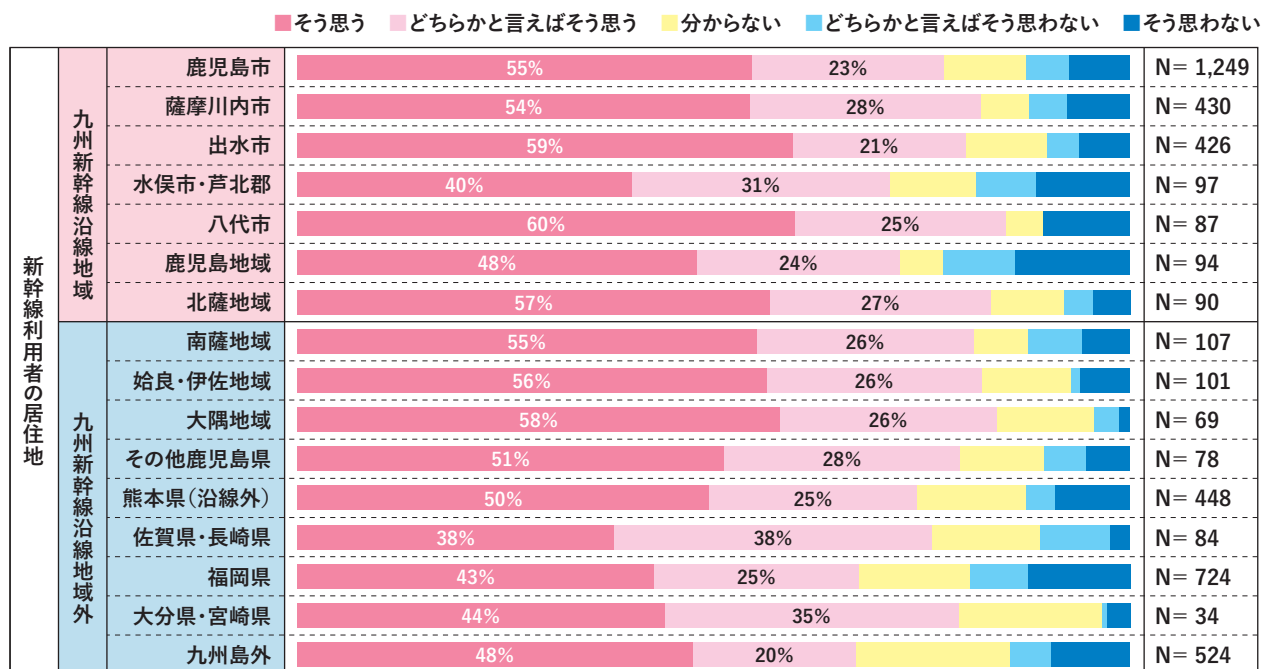
九州新幹線の開業により、所要時間が短縮されたこと等により、出水市、薩摩川内市から鹿児島市等の都市への通勤・通学での鉄道利用が大幅に増加し、2年目以降も増加傾向が続いています。開業3年目（H19.1.31）の定期利用者は約1,100人/日と開業前の約11倍となっています。

	開業前	開業後		
	（H16.1.31）	1年目（H17.1.31）	2年目（H18.1.31）	3年目（H19.1.31）
新水俣～熊本	17	28	33	41
新水俣～新八代	13	30	40	49
出水～川内	3	35	50	58
出水～鹿児島中央	14	160	277	328
川内～鹿児島中央	46	263	390	430
その他	6	77	114	156
定期合計	99	593	904	1,062

《資料》
JR九州公表資料を基に作成
※人数は定期乗車券を保有している人数である。

九州新幹線(新八代・鹿児島中央)事業に関する事後評価報告書(平成21年3月 鉄道・運輸機構)

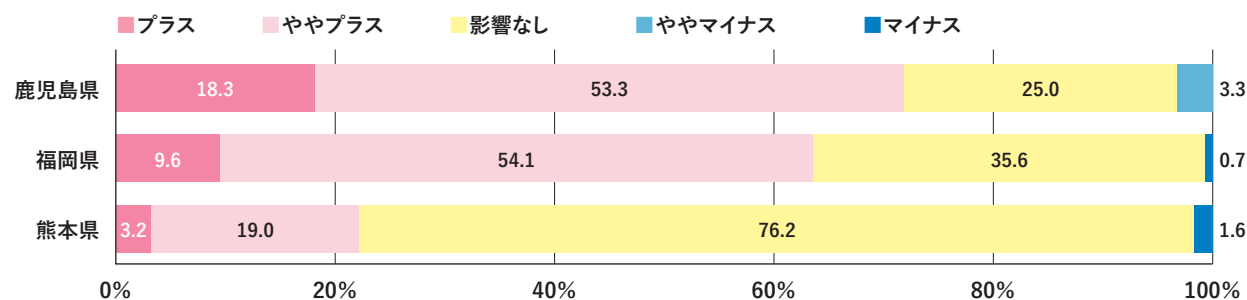
❺ 人的交流の活発化

新幹線整備による利便性向上により、旅行目的地が広がり、人的交流の活発化に寄与していると考えられます。

問 新幹線を利用することで在来線特急を利用していた頃と比べて旅行目的地の範囲が拡がった

九州新幹線（新八代・鹿児島中央）事業に関する事後評価報告書（平成21年3月 鉄道・運輸機構）

❻ 企業活動への影響

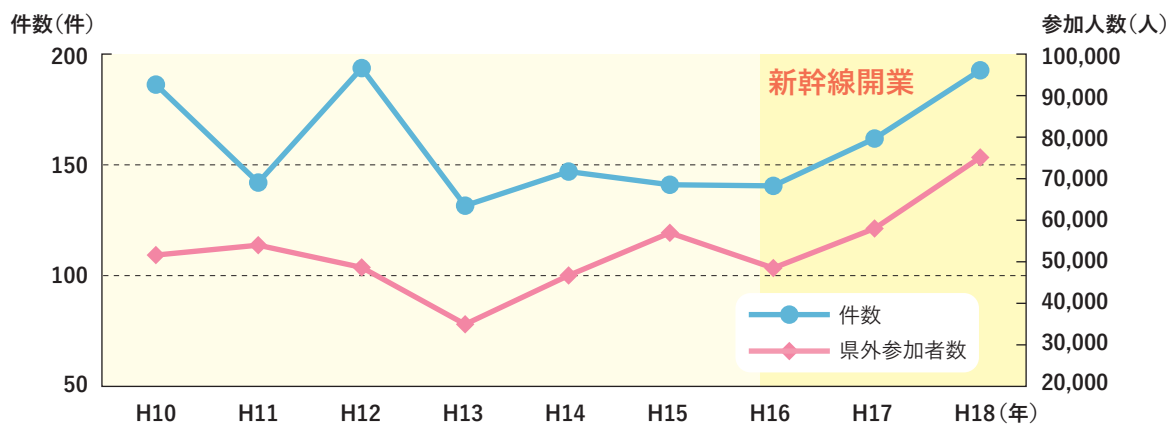
九州経済調査会がJR鹿児島本線沿線県に立地する支店、地場上場企業を対象に実施した「九州新幹線部分開業に関するアンケート」によると鹿児島県では約72%、福岡県では約64%の企業がプラスの効果があったと回答しています。

代表的な効果として、「出張コストの削減」、「営業活動の範囲の拡大」、「情報収集がしやすくなった」ことが挙げられます。

九州新幹線（新八代・鹿児島中央）事業に関する事後評価報告書（平成21年3月 鉄道・運輸機構）

	鹿児島県	福岡県
出張コストが削減された	52%	46%
営業活動範囲が広がった	23%	31%
情報収集がしやすくなった	15%	12%

九州新幹線（新八代・鹿児島中央）事業に関する事後評価報告書（平成21年3月 鉄道・運輸機構）

❼ コンベンション開催数の変化

九州新幹線の開業以降、鹿児島市でのコンベンション開催回数・県外からの参加人数とも増加しており、新幹線の整備が交流の活発化に寄与していると考えられます。

九州新幹線(新八代・鹿児島中央)事業に関する事後評価報告書(平成21年3月 鉄道・運輸機構)

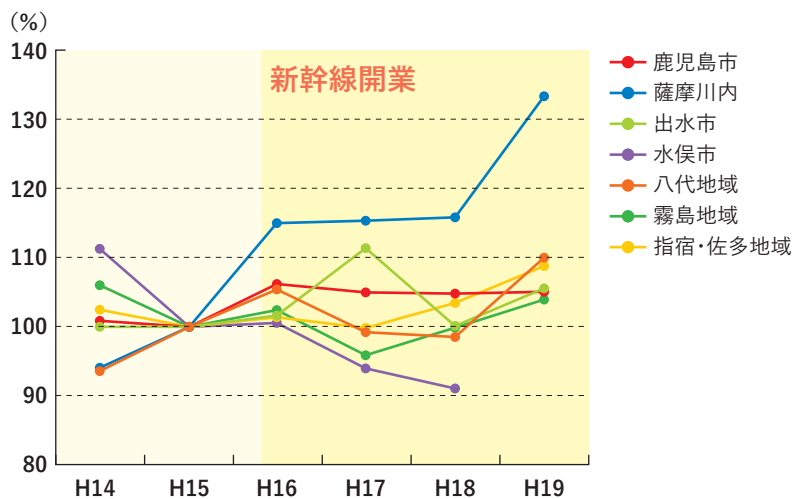
❽ 宿泊施設の変化

鹿児島市内のホテル数の変化をみてみると新幹線開業の約5年前頃からホテルの建設が目立ち始めており、平成19年度のホテル数は平成11年度に比べ+26%の73軒(+16軒)、客室数は+35%の6,581室(+1,756室)に増加しています。

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	増加率 H19/H11
ホテル数	57	58	56	59	59	64	70	71	73	1.26
客室数	4,825	4,872	4,805	4,943	4,966	5,531	6,297	6,466	6,581	1.35

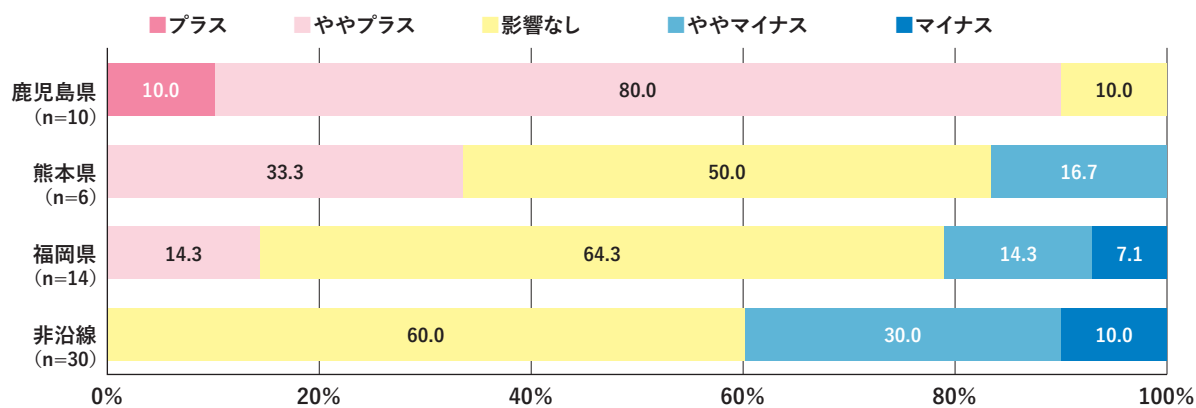
九州新幹線(新八代・鹿児島中央)事業に関する事後評価報告書(平成21年3月 鉄道・運輸機構)

❾ 観光入込み客数の推移

平成15年を100%として、観光入込み客数の推移をみると、新幹線が開業した平成16年は全体的に増加しており、新幹線開業が寄与していると考えられます。

九州新幹線(新八代・鹿児島中央)事業に関する事後評価報告書(平成21年3月 鉄道・運輸機構)

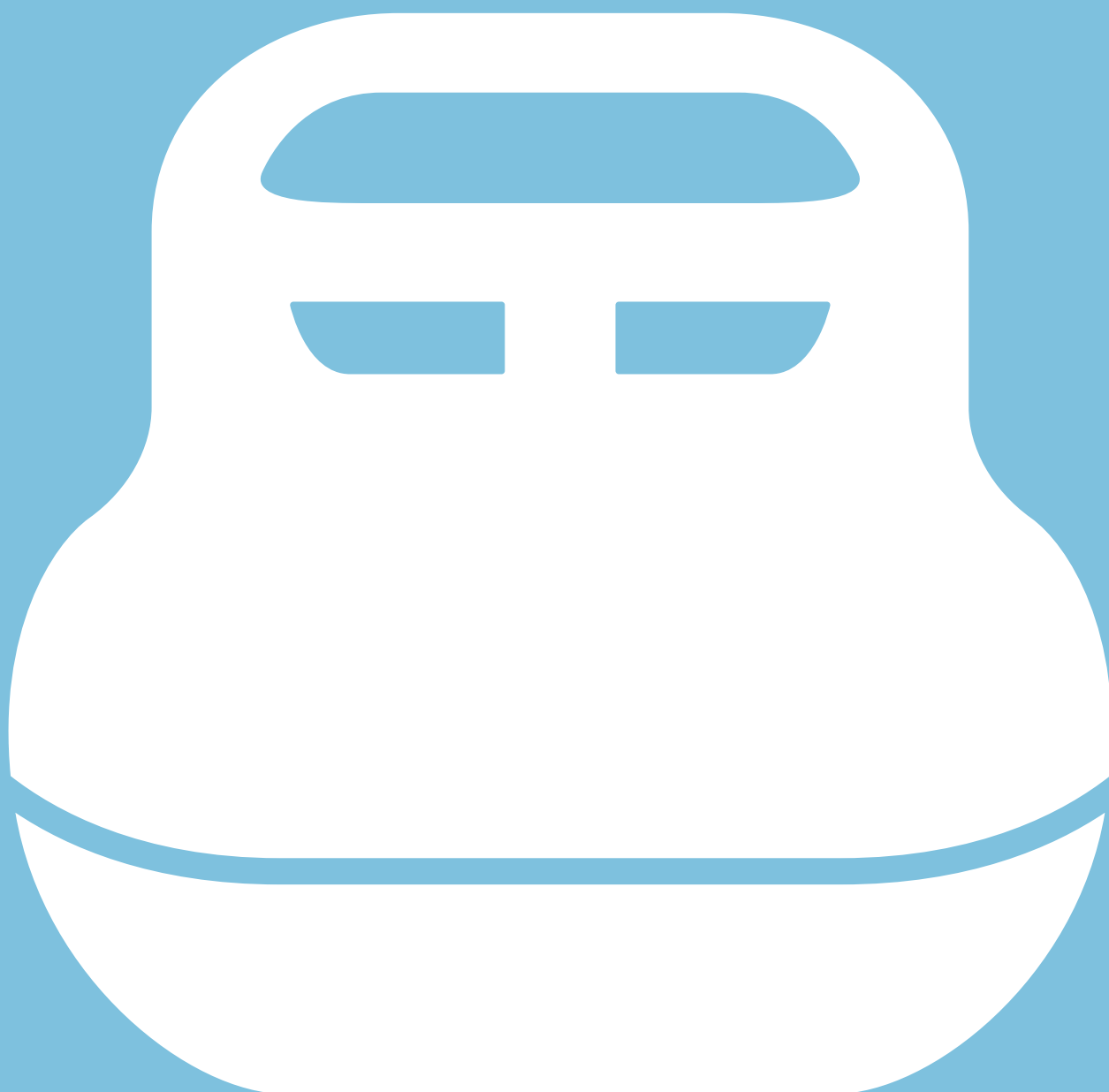
⑩ 観光への影響

新幹線開業による観光への影響について、九州経済調査会が実施した「九州の観光・レジャーに関するアンケート」の結果をみると、鹿児島県の観光施設のうち約90%がプラスの効果があったと回答しています。

この調査はサンプル数が少なく、開業10か月後の1時点の調査という点を考慮する必要がありますが、観光への大きな影響をもたらしていると考えられます。

※1）回答時期は2005年1月時点　※2）非沿線は佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、沖縄県

九州新幹線（新八代・鹿児島中央）事業に関する事後評価報告書（平成21年3月 鉄道・運輸機構）

第2章

進化する長崎のまち

進化する陸の玄関口

新長崎駅舎の開業や新駅ビル建設、新幹線の開通、出島メッセ長崎の開業など、今、長崎駅の周辺が大きく変わろうとしています。

これからの時代に合わせて進化し、新たな賑わいをつくるため、九州新幹線西九州ルートの暫定開業効果を最大限に活かし、その効果を長崎駅周辺だけでなく周辺地域にも波及させる取組みを進めています。

主な事業スケジュール

事業名＼年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7
新幹線		→	→	開業予定			
連続立体交差		→	→	完了予定			
土地区画整理	西側	→	完了予定				
	東側	→	→	→	→	完了予定	
出島メッセ長崎		→	→	開業予定			
新駅ビル（JR九州）		→	→	→	●部分開業予定	※R7グランドオープン予定	⋯

① 長崎スタジアムシティプロジェクト

V･ファーレン長崎の新たな本拠地となるスタジアムを中心に、オフィスや商業施設、ホテルなど、新たな街づくりが進められる予定です。

② 出島メッセ長崎

③ 在来線駅舎

④ 新幹線駅舎

⑤ 新駅ビル（JR九州）

⑥ 東口交通広場

交通広場の整備や電停のバリアフリー化を行い、利用する方がさらに使いやすくなります。

⑦ 多目的広場

さまざまなイベントの開催や憩の空間として楽しむことができる場になります。

1 長崎駅周辺再整備

「新幹線・在来線双方が乗り入れる日本唯一の頭端駅」、「世界にも類を見ない海に開かれた駅」という特徴を活かした駅舎を整備し、駅前広場は現在の高架広場の約3倍の広さになります。

訪問客を迎える、明るく開放的な駅舎

訪問客を出迎え、市民の憩いや活動の舞台となるゆとりある広場

出島メッセ長崎の開業

長崎駅の西口正面には、出島メッセ長崎が令和3年11月に開業予定です。3,000人規模のコンベンションホールやイベント・展示ホール、会議室を備え、ヒルトン長崎が併設されます。国内外から多くの訪問客を受け入れ、新たなビジネスや文化を生み出していく交流の拠点になります。

また、会議などの開催前後には、参加者がまちに繰り出し、食を楽しんだり、観光名所にあしを延ばしたりと、さらに賑わいが生まれ地域が活性化されます。

コンベンションホール

MICEとは・・・

企業などの会議	M	eeting
企業の褒賞旅行	I	ncentive Travel
国際会議や学会	C	onvention
イベントや見本市	E	vent/Exhibition

多くの人が集まる、交流の機会を指す総称

イベント・展示ホール

長崎スタジアムシティプロジェクト

三菱重工業幸町工場跡地では、V･ファーレン長崎の新たな本拠地となるスタジアムを中心に、オフィスや商業施設、ホテルなど新たな街づくりが進められる予定です。

※構想段階のため今後デザイン含め変更の可能性があります。
©ジャパネットホールディングス

※構想段階のため今後デザイン含め変更の可能性があります。
©ジャパネットホールディングス

※構想段階のため今後デザイン含め変更の可能性があります。
©ジャパネットホールディングス

まちぶらプロジェクト

陸と海の玄関口の整備により長崎のまちが変わっていく中、長崎の中心部である「まちなか」においても、まちなみや歴史を活かして賑わいの再生を図り、回遊性を高めていきます。

エリアの魅力づくり

5つのエリアにおいて、まちづくりの方向性を掲げ、各エリアが持つ特色を活かしながら、魅力の向上に結び付くような取組みを進めます。

《まちなみ整備助成制度》

以前の店舗　現在の店舗（町家風）

《ししとき川沿い道路整備》

昔は石畳　その後アスファルト化　石畳を復元

軸づくり

「まちなか軸」を基軸として、各エリア間の回遊性を高める環境の整備を行います。

《公共トイレの整備》

まちなみに合わせた外観

利用しやすい機能の充実

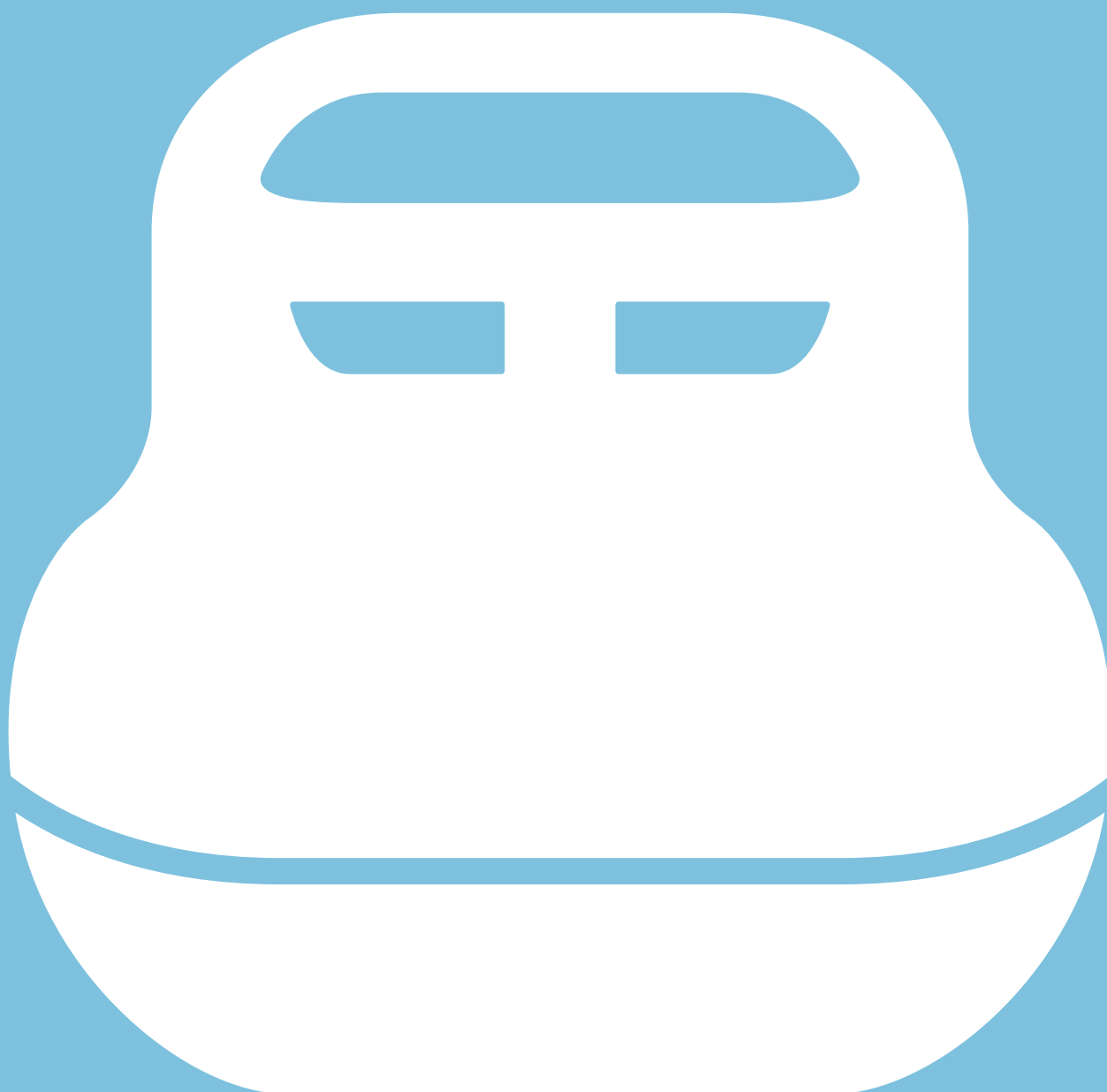
地域力によるまちづくり

地域や市民自らが企業や行政などと連携し、まちなかを支えるような地域力等を結集する取組みを支援します。

《賑わいづくり活動支援事業》

ながさきキッズハロウィンパーティー

第3章

アクションプラン策定の趣旨と基本方針

1 策定の趣旨

これから長崎のまちは、新幹線開業に合わせた「長崎駅周辺整備事業」や「出島メッセ長崎」の開業、「長崎スタジアムシティプロジェクト」などの民間と連携したまちづくりにより、大きく進化していきます。

九州新幹線西九州ルートの暫定開業は、移動時間の短縮効果や交流人口の拡大による地域活性化等が期待されます。この新幹線開業効果を最大限に引き出すため、長崎市がこれまで継続的に取り組んできた、まちなかの魅力を向上する「まちぶらプロジェクト」や「交流の産業化」による長崎創生の取組み等と連動し、行政、民間企業、市民が連携して取り組む「長崎市新幹線開業アクションプラン」を策定しました。

2 基本方針

長崎県の新幹線開業アクションプランと連動した「市民の気運醸成」、「誘客促進」、「市内各地への周遊促進」、「訪問客の満足度向上」及び「産業の振興」の5つの方向性に沿って、幅広い分野にわたり官民一体となって取り組むことで、相乗効果を高めていきます。

基本方針A　市民の気運醸成　～市民みんなで2022年度開業を盛り上げよう！～

長崎県と連携して情報発信や開業PRを行うことで、市民が新幹線開業を契機として、長崎市の活性化と発展に向けた取組みを共に考え行動できるよう、気運を高めていきます。

基本方針B　誘客促進　～たくさんの人に長崎市に来てもらおう！～

長崎県や沿線市、JR九州等と連携し、西九州ルートの開業前後に国内外に対するプロモーションを集中的に実施することで、長崎市への来訪意欲を高め、訪問客の増加につなげます。

基本方針C　市内各地への周遊促進　～便利に周遊してもらおう！～

ワンストップによる観光・二次交通等の案内機能を高めるとともに、交通事業者等と連携し、多言語対応やユニバーサルツーリズムへの対応強化など訪問客の利便性を高めます。

基本方針D　訪問客の満足度向上　～楽しい時間を過ごしてもらおう！～

おもてなしの向上を図るとともに、訪問客が滞在を楽しむ環境づくりや多様な資源を活かした魅力づくりを行い、訪問客の滞在満足度につなげます。

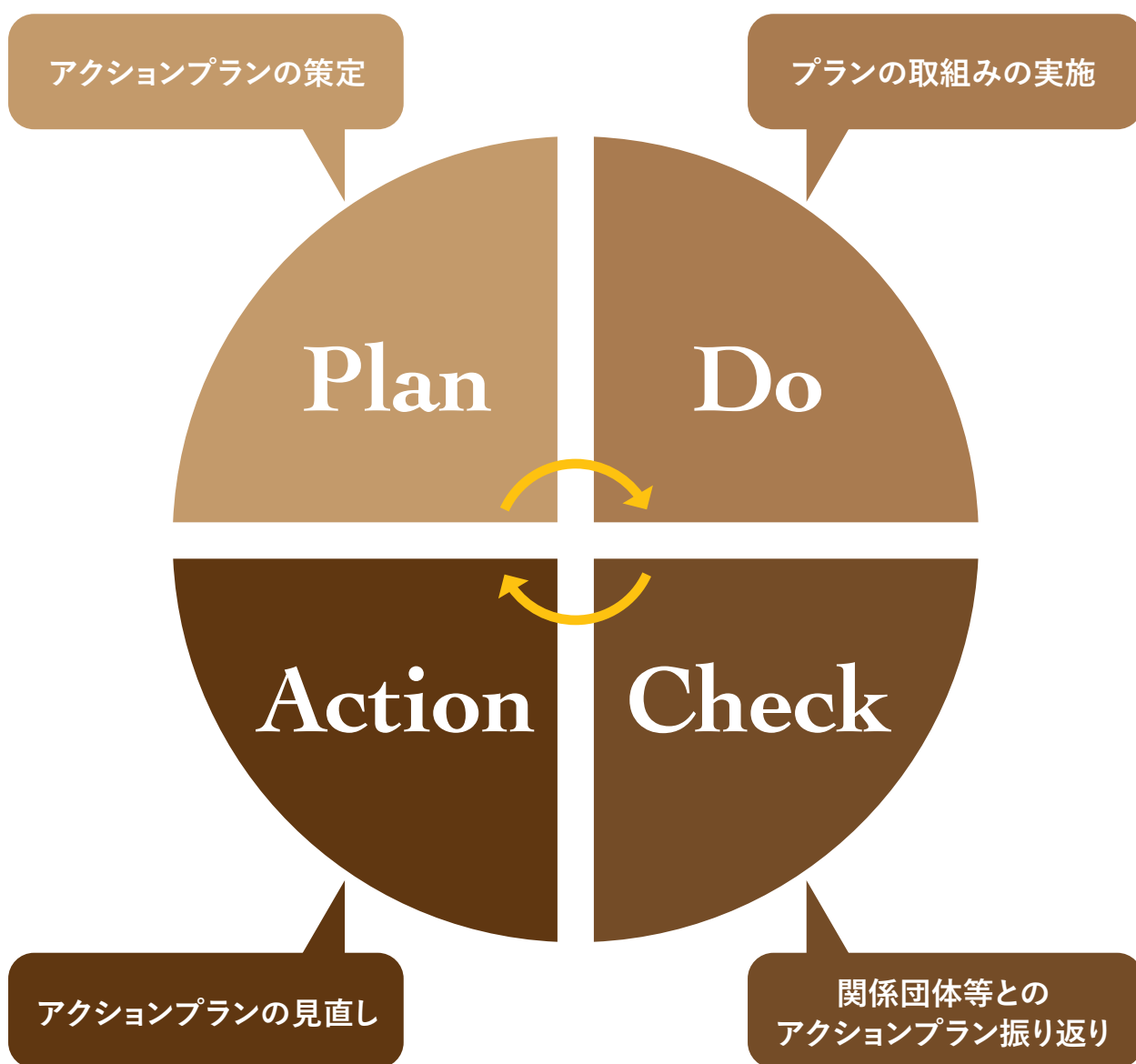
基本方針E　産業の振興　～ビジネスの拡大につなげよう！～

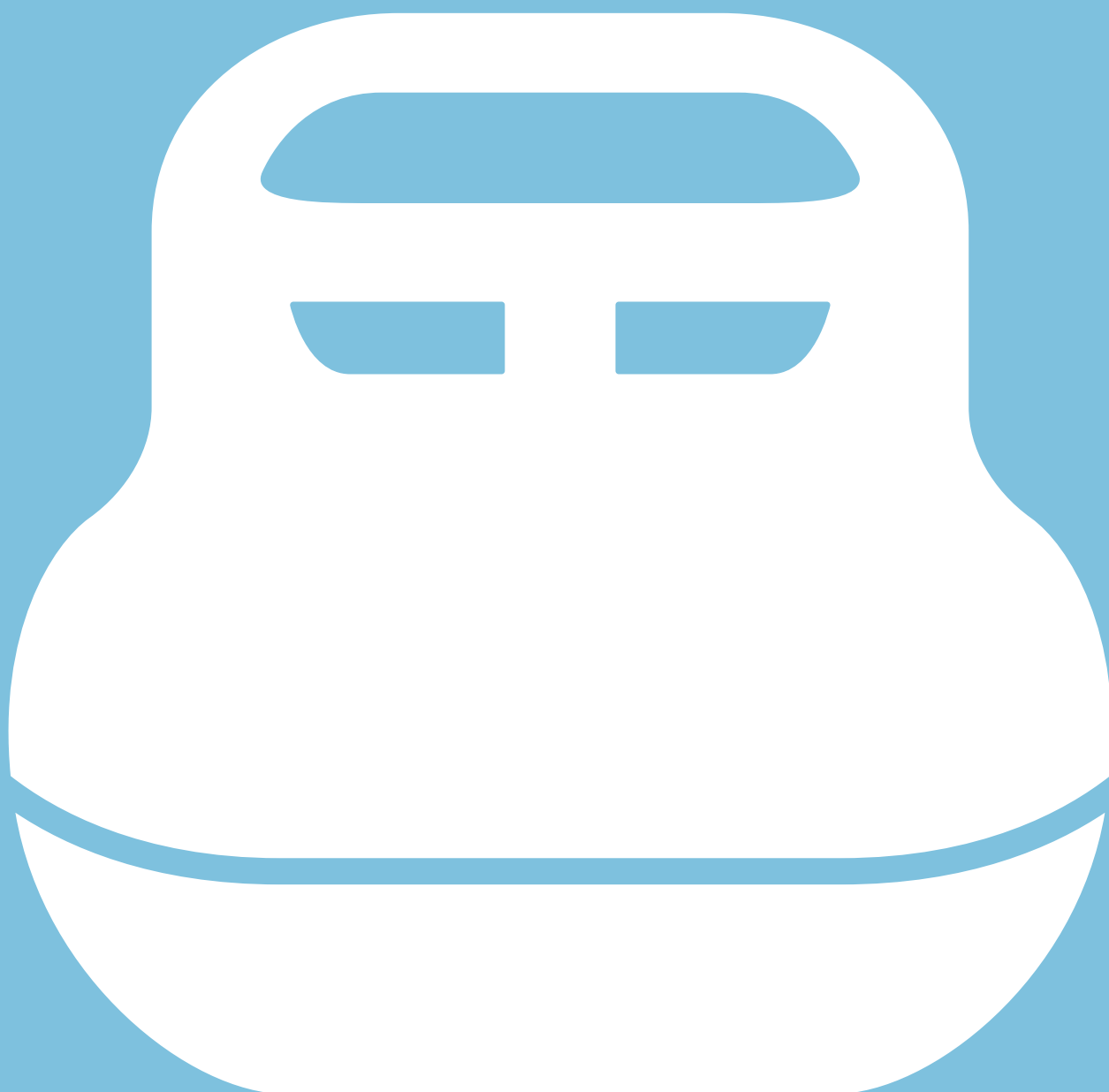
民間事業者が新幹線開業をビジネスチャンスとして捉えることで、モノ・サービスの販売促進や販路拡大につなげ、経済活性化を図っていきます。

アクションプランの推進

アクションプランの推進にあたって、長崎県や沿線市だけでなく、市民や経済界、関係団体と協議・連携しながら、協力して取り組むことが重要です。

また、PDCAサイクル(計画 → 実行 → 評価 → 改善)に則った進捗管理に努めるとともに、今後の状況の変化に迅速に対応していくため、必要に応じてプランを見直していく必要があります。

アクションプランの進捗管理と推進体制については、今後の西九州ルートの整備方針等の検討状況を見極め、関係各位との協議を継続しながら、新幹線開業効果を最大化する取組みを推進していきます。

第4章

アクションプランの体系と取組み

1　取組体系表（基本方針 － 施策 － 具体的取組）

5つの基本方針に基づき、17の施策、40の具体的取組を取りまとめました。

基本方針Ａ　市民の気運醸成

～市民みんなで2022年度開業を盛り上げよう！～

	施　策	具体的取組
Ａ1	積極的な情報発信	
Ａ1-1	多様な手法による開業PR	(1) 西九州ルート暫定開業のメリット、新長崎駅等の情報発信 (2) 開業PRキャッチコピーやロゴマークの活用 (3) 既存イベント等を活用した開業PR
Ａ2	市民参加意識の醸成	
Ａ2-1	市民の参加意識を高める開業関連イベント等の開催	(1) 新幹線開業フォーラムの開催 (2) 現場見学会や出前講座等の実施 (3) 県主催の企画イベントへの協力等 (4) 開業までの気運を高めるイベントの開催 (5) 開業記念イベントの開催

基本方針Ｂ　誘客促進

～たくさんの人に長崎市に来てもらおう！～

	施　策	具体的取組
Ｂ1	長崎市への来訪意欲を高める仕掛けづくり	
Ｂ1-1	観光資源としての鉄道の活用	(1) 魅力ある新幹線車両の導入に向けた取組み (2) 観光列車の運行等に向けた取組み (3) 鉄道や駅を活用した魅力づくり
Ｂ1-2	長崎駅周辺を中心とした魅力の向上と発信	(1) 長崎駅周辺地域の魅力の向上と発信 (2) 新しいまちづくりと連動した誘客
Ｂ2	開業を見据えたプロモーションの実施	
Ｂ2-1	効果的なプロモーションの展開	(1) 長崎県、沿線市及びJR九州等と連携した情報発信 (2) 国内向け旅行商品の造成による誘客 (3) 「長崎○○LOVERSプロジェクト」を活かしたPR (4) 西九州ルートの利用を促す仕掛けづくり

基本方針Ｃ　市内各地への周遊促進

～便利に周遊してもらおう！～

	施　策	具体的取組
C1	長崎駅を拠点とした周遊しやすい環境整備	
C1-1	観光・交通案内機能やサービスの充実	(1) 観光案内のコンシェルジュ機能強化 (2) 二次交通案内等の充実・強化 (3) 円滑な国道の横断
C1-2	二次交通の充実・強化	(1) 市内交通ネットワークの利便性向上 (2) 路面電車長崎駅前停留所のバリアフリー化

基本方針Ｄ　訪問客の満足度向上

～楽しい時間を過ごしてもらおう！～

	施　策	具体的取組
D1	新幹線で訪れる方への徹底したおもてなし	
D1-1	訪問客を明るく迎え入れる環境づくり	(1) 魅力的な駅前空間の整備 (2) 心をこめたおもてなし
D1-2	「ながさきの食」を楽しむ機会の充実	(1) 食を楽しむ環境づくり
D2	滞在環境の充実	
D2-1	安心・快適に滞在できる環境づくり	(1) 快適に滞在できる環境づくり
D2-2	外国人観光客向けサービスの充実	(1) 外国人受入対応の強化
D3	観光コンテンツの魅力向上	
D3-1	歴史文化資源の磨き上げ	(1) 2つの世界遺産 (2) 出島
D3-2	ハードの整備・磨き上げ	(1) 夜景観光の推進 (2) 居留地 (3) 中島川周辺 (4) 長崎駅多目的広場の整備・活用
D3-3	ソフトの磨き上げ	(1) 周遊を促す仕掛けづくり (2) 夜景観光及びナイトタイムエコノミーの推進 (3) 出島メッセ長崎へのイベント等の誘致 (4) 市民・民間と連携したまちなかの魅力づくり

基本方針Ｅ　産業の振興

～ビジネスの拡大につなげよう！～

	施　策	具体的取組
Ｅ1	ビジネスの拡大促進	
Ｅ1-1	特産品や食材の認知度向上と販売促進	(1) 関係機関と連携した新商品の開発やPR
Ｅ1-2	企業活動の活性化	(1) ビジネス交流機会の拡大・創出
Ｅ1-3	新たなビジネスの誘致	(1) 新たなビジネスの誘致

基本方針Ａ　市民の気運醸成

～市民みんなで2022年度開業を盛り上げよう！～

新幹線の開業は、交流人口の拡大や地域経済の活性化など、多くの効果が期待されます。この開業効果を高めるには、行政、民間企業、市民が一体となって開業に向けて気運を盛り上げ、行動を起こすことが重要です。

しかしながら、西九州ルートは、他の路線と比較して時間短縮効果が小さいことや、開業後のルート全体の姿が示されていないことで、新幹線が開業するイメージを持てないなどの理由から、市民の関心・期待が高まっているとは言えない状況です。

そのため、新幹線開業のメリットや効果等についてわかりやすく情報発信し周知を図ることで、市民の西九州ルートに対する理解を深め、新幹線開業への関心や期待を高めていく必要があります。

長崎県と連携して情報発信や開業PRを行うことで、市民が新幹線開業を契機として、長崎市の活性化と発展に向けた取組みを共に考え行動できるよう、気運を高めていきます。

Ａ1　積極的な情報発信

①　多様な手法による開業PR

（1）　西九州ルート暫定開業のメリット、新長崎駅等の情報発信

多様な媒体を活用し、新幹線開業のメリット、新長崎駅などについて広く周知し、開業に向けて市民の気運を高めます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
多様な媒体を活用した開業PR	県が作成するパンフレットやWebサイト、市のホームページやフェイスブック等の市政情報提供ツールなど様々な媒体により、新幹線開業について市民への周知を図ります。	長崎市 （長崎駅周辺整備室）	長崎県
長崎駅周辺の完成イメージパース等の作成・情報発信	新しく生まれ変わる長崎駅周辺の姿をイメージし、市民が関心や親しみを持てるようイメージパースやVRを作成し、情報発信を行います。	長崎市 （長崎駅周辺整備室）	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
多様な媒体を活用した開業PR	準　備 → 実　施	実　施	実　施	実　施 →
長崎駅周辺の完成イメージパース等の作成・情報発信	実　施	実　施	実　施	実　施 →

（2）開業PRキャッチコピーやロゴマークの活用

長崎県が作成するキャッチコピーやロゴマークを市民等に周知し、西九州ルートをPRします。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
キャッチコピーやロゴマークによる開業PR	長崎県が作成するキャッチコピーやロゴマークを「週刊あじさい」「広報ながさき」等に掲載し、市民への周知を図ります。	長崎市 （長崎駅周辺整備室）	長崎県
カウントダウン看板等の設置	市役所庁舎の横看板や立て看板を活用し、開業までのカウントダウンを実施し、市民の期待感を高めます。	長崎市 （長崎駅周辺整備室）	長崎県
お土産品等の活用	お土産品のパッケージ等へのキャッチコピー・ロゴマークの表示を促します。	民間事業者	長崎市ブランド振興会 シュガーロード連絡協議会
広報ツールでの開業PR	民間事業者に対し、広報ツール（シール、名刺、ピンバッジ等）の活用を呼びかけます。	新幹線暫定開業効果最大化実行委員会	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
キャッチコピーやロゴマークによる開業PR	実　施 →			→
カウントダウン看板等の設置	準　備 →	→	実　施 →	
お土産品等の活用	実　施 →			→
広報ツールでの開業PR	実　施 →			→

(3) 既存イベント等を活用した開業PR

長崎市内外で開催される既存のイベント等で西九州ルート開業をPRします。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
既存のイベント等での開業PR	市内外各地で行われている既存イベント等で開業をPRするブース等を設置するなど開業をPRします。	長崎市 （長崎駅周辺整備室）	イベント開催団体等
長崎ランタンフェスティバル	ステージでの告知や会場内へのポスター掲示等を行い、開業をPRします。	長崎市 （観光推進課）	長崎ランタンフェスティバル実行委員会
長崎帆船まつり	ステージでの告知や会場内へのポスター掲示等を行い、開業をPRします。	長崎市 （観光推進課）	長崎帆船まつり実行委員会
長崎開港450周年記念事業	関連イベントごとに案内ブースを設置し、開業をPRします。	新幹線暫定開業効果最大化実行委員会	
ながさきみなとまつり	案内ブースを設置し、開業をPRします。	新幹線暫定開業効果最大化実行委員会	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
既存のイベント等での開業PR	実　施 →			
長崎ランタンフェスティバル	準　備	実　施 →		
長崎帆船まつり	準　備	実　施 →		
長崎開港450周年記念事業		実　施 →		
ながさきみなとまつり	準　備	実　施 →		

Ａ2 市民参加意識の醸成

② 市民の参加意識を高める開業関連イベント等の開催

(1) 新幹線開業フォーラムの開催

長崎県と連携し、誰でも参加できる新幹線開業フォーラムを開催し、市民の参加意識を高めます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
新幹線開業フォーラム等の開催	県や沿線市と連携し、誰でも参加できる新幹線開業フォーラム等を開催します。長崎市及び沿線市で開催します。	長崎県 長崎市 (長崎駅周辺整備室) 沿線市	長崎県 沿線市

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
新幹線開業フォーラム等の開催	実　施 →			

(2) 現場見学会や出前講座等の実施

開業が迫っていることを実感してもらうため、県や沿線市と連携し、車両撮影会、試乗イベントを開催します。また、長崎県と連携して新幹線開業出前講座を実施し、市民の参加意識を高めます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
レールウォーク、車両撮影会、試乗イベントの開催	県や沿線市及びJR九州などと連携し、レールウォーク、車両撮影会、試乗イベントを開催します。	長崎市 (長崎駅周辺整備室) JR九州	長崎県 沿線市 鉄道・運輸機構 JR九州
現場見学会や出前講座等の実施	新幹線工事現場の見学会や出前講座等を実施します。	長崎市 (長崎駅周辺整備室)	長崎県 鉄道・運輸機構 JR九州

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
レールウォーク、車両撮影会、試乗イベントの開催	実　施 →			
現場見学会や出前講座等の実施	実　施 →			

(3) 県主催の企画イベントへの協力等

広報誌や小・中学校を通じて、児童・生徒へ開業をPRするとともに県主催のイベントへの参加を促します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
企画イベントへの協力	県主催の企画イベントへの参加を広報誌や小・中学校を通じて児童・生徒へ促します。	長崎市 (長崎駅周辺整備室)	長崎県

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
企画イベントへの協力	実　施 →			

(4) 開業までの気運を高めるイベントの開催

開業前の節目に、県や関係団体と連携し、趣向をこらしたカウントダウンイベント等を開催し、話題性を高めます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
カウントダウンイベント等の開催	開業前の節目(500日前、1年前、100日前等)において、県・市・関係団体等が連携し、カウントダウンイベント等を開催します。	長崎県 長崎市 (長崎駅周辺整備室)	JR九州
絵画コンテストの実施	子供たちの新幹線に対する期待感を高めるため、新幹線をテーマにした絵画コンテストを実施します。	長崎市 (長崎駅周辺整備室)	
長崎駅東西口の名称募集	長崎駅東西口の名称を広く市民等から募集します。	長崎市 (長崎駅周辺整備室)	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
カウントダウンイベント等の開催	準　備	実　施	実　施	
絵画コンテストの実施	実　施	実　施	実　施	実　施
長崎駅東西口の名称募集	準　備	実　施		

(5) 開業記念イベントの開催

県や関係団体と連携し、開業イベントを開催します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
開業記念イベントの開催	開業日当日を盛り上げるため、開業記念イベントを開催します。	長崎県 長崎市 (長崎駅周辺整備室) JR九州	
開業日以降の節目イベントの開催	開業後の盛り上がりを継続するため、開業日以降の節目イベント(開業後1年イベント等)を開催します。	長崎県	長崎市 (長崎駅周辺整備室)

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
開業記念イベントの開催		準　備	準　備　実　施	
開業日以降の節目イベントの開催			準　備	実　施

基本方針Ｂ　誘客促進

～たくさんの人に長崎市に来てもらおう！～

新幹線の開業において、最も期待される効果の一つとして挙げられるのが、交流人口の拡大です。先に開業した他県においては、観光客数が開業前と比べ、鹿児島県では約1.2倍、石川県では約1.3倍にそれぞれ増加しています。

そのような中、西九州ルートにおいては、当面、対面乗換による暫定開業となることから、新幹線開業による訪問客の増加に向けた対策や取組みの工夫が必要です。

このため、鉄道や駅を利用した魅力づくりを行うとともに、長崎県や沿線市、JR九州等と連携し、西九州ルートの開業前後に国内外に対するプロモーションを集中的に実施することで、長崎市への来訪意欲を高め、訪問客の増加につなげていきます。

Ｂ1 長崎市への来訪意欲を高める仕掛けづくり

① 観光資源としての鉄道の活用

(1) 魅力ある新幹線車両の導入に向けた取組み

「乗ること」自体が目的となる魅力ある新幹線車両の導入についてJR九州に働きかけます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
魅力ある新幹線車両の導入の働きかけ	新幹線の乗車時間が短いことから、「乗ること」自体が目的となるような魅力的な車両(新幹線、リレー特急)の導入について働きかけます。	長崎市 (長崎駅周辺整備室) 長崎県 沿線市	JR九州

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
魅力ある新幹線車両の導入の働きかけ	実　施	実　施		

(2) 観光列車の運行等に向けた取組み

魅力ある観光列車の定期運行をJR九州に働きかけます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
魅力ある観光列車運行の働きかけ	「或る列車」や「ななつ星in九州」等魅力ある観光列車の長崎駅発の定期運行を要望します。	長崎市 (観光推進課)	JR九州

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
魅力ある観光列車運行の働きかけ	実　施	実　施	実　施	実　施

(3) 鉄道や駅を活用した魅力づくり

終着駅ならではの撮影スポットなど新たな魅力づくりに取り組むとともに、特産品等を活用した駅弁をPRし、情報発信を行います。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
終着駅ならではの撮影スポット等魅力の発信	新幹線と在来線が同時に撮影できるスポットなど、終着駅ならではの魅力づくりに取り組み、広く情報発信します。	長崎県 長崎市 (観光推進課)	
特産品の販売促進	長崎市ブランド振興会と連携して長崎市の特産品をPRし、販売促進を図ります。	長崎市 (商工振興課)	長崎市ブランド振興会
シュガーロードを活用したPRと販売促進	シュガーロード連絡協議会や沿線市と連携し、シュガーロードをテーマとした商品企画やPRにより、スイーツやお土産の販売促進を図ります。	長崎市 (商工振興課)	シュガーロード連絡協議会
駅弁への特産品等の活用促進	駅弁に市内の特産品や食材を活用し、消費拡大につなげます。	民間事業者	生産者団体 長崎市 (水産農林政策課)

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
終着駅ならではの撮影スポット等魅力の発信	準　備	実　施 →		
特産品の販売促進	実　施 →			
シュガーロードを活用したPRと販売促進	実　施 →			
駅弁への特産品等の活用促進	検　討	開　発	販　売 →	

② 長崎駅周辺を中心とした魅力の向上と発信

(1) 長崎駅周辺地域の魅力の向上と発信

長崎県が構築するWEBサイト等を活用し、長崎駅周辺のお薦めスポットや魅力を発信します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
長崎駅周辺地域の魅力発信	長崎駅周辺地域にある観光スポットや魅力の発信を行います。	長崎市 (観光推進課)	長崎県

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
長崎駅周辺地域の魅力発信		実　施 →		

(2) 新しいまちづくりと連動した誘客

長崎駅周辺で進む「出島メッセ長崎」の整備や「長崎スタジアムシティプロジェクト」等と連携し、魅力あるまちづくりを推進するとともに、大会・学会やイベント開催による誘客を図ります。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
出島メッセ長崎の整備	多様なMICEを開催することで国内外から訪問客を呼び込む「出島メッセ長崎」を整備（令和3年11月開業予定）します。	長崎市 (交流拠点施設整備室)	株式会社ながさきMICE
MICEの誘致	長崎県、大学、経済界など様々な関係機関と連携して長崎の特徴や強みを活かしたMICEを誘致します。 「長崎スタジアムシティプロジェクト」と連携し、大型イベント等を誘致します。	長崎市 (交流戦略推進室) DMO 株式会社ながさきMICE	長崎県 経済界 大学等

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
出島メッセ長崎の整備	建　設 →	→		
MICEの誘致	セールス・プロモーションの実施 →	→	→	→

※DMO…地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人のこと。Destination Management/Marketing Organization（デスティネーション・マネージメント・オーガニゼーション）の頭文字の略。

B2 開業を見据えたプロモーションの実施

① 効果的なプロモーションの展開

(1) 長崎県、沿線市及びJR九州等と連携した情報発信

長崎県や沿線市、JR九州等と連携して、西九州ルートの魅力発信、効果的なプロモーションやキャンペーンを実施することで、西九州ルートの利用促進に努めます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
効果的なプロモーションやキャンペーンの実施	誘客のターゲットエリアである(関西圏、中国圏)を中心に、県、沿線市、JR九州等と連携し、効果的なプロモーションやキャンペーンを実施します。	長崎県 長崎市 (観光推進課) 沿線市 JR九州	観光団体等
	九州観光推進機構や長崎県観光連盟と連携したセールス活動により、効果的な誘客・利用促進を図ります。	DMO	観光団体等
開業をアピールするイベントの開催	長崎県、沿線市及びJR九州等と連携し、開業イベントを開催します。	長崎県 長崎市 (長崎駅周辺整備室) 沿線市 JR九州	民間事業者

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
効果的なプロモーションやキャンペーンの実施	準　備	実　施	実　施	実　施
開業をアピールするイベントの開催	概要確定	概要確定	概要確定 / 実　施	実　施

(2) 国内向け旅行商品の造成による誘客

新幹線を活用した魅力ある国内旅行商品を造成し、誘客につなげます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
魅力ある国内旅行商品の造成促進	JR各社や旅行会社に対して、新幹線を活用した魅力ある旅行商品の企画・造成を促し誘客を図ります。	長崎市 (観光推進課)	JR各社 旅行会社

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
魅力ある国内旅行商品の造成促進	準　備	準　備	実　施	実　施

(3)　「長崎〇〇LOVERSプロジェクト」を活かしたPR

「長崎〇〇LOVERSプロジェクト」により、SNS等を用いた市民による情報発信や、ロゴマークを活用した企業等による商品開発を行います。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
Instagramによる写真投稿キャンペーンの実施	Instagramにおいて、新幹線をテーマとした写真投稿キャンペーンを行い、市民による新幹線開業のPRにつながる写真の投稿を促します。入選作品は、公式アカウントにおいても紹介します。	長崎市 (長崎創生推進室)	
ロゴマークを活用した商品開発	新幹線開業に合わせて、長崎〇〇LOVERSのロゴマークを活用した、PRにつながる新たな商品開発を促進します。	民間事業者	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
Instagramによる写真投稿キャンペーンの実施		実　施 →	→	
ロゴマークを活用した商品開発	実　施 →	→	→	→

(4)　西九州ルートの利用を促す仕掛けづくり

JRパスなどを利用した外国人観光客の誘致を強化します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
インバウンド向けプロモーションの実施	様々な媒体を活用し、西九州ルートの開業をPRするとともに、海外の現地旅行社等と連携し、JRパスなどを活用した誘客を強化します。	DMO	民間事業者

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
インバウンド向けプロモーションの実施	実　施 →	→	→	→

基本方針Ｃ　市内各地への周遊促進

～便利に周遊してもらおう！～

新幹線開業により訪問客の増加が見込まれますが、その効果を高めるには、長崎駅を起点として、訪問客の市内・県内への周遊を促進することが重要です。

そのためには、訪問客がストレスなく目的地に移動できる環境を整える必要があります。

長崎駅におけるワンストップによる観光・二次交通等の案内機能を高めるとともに、交通事業者等と連携し、多言語対応やユニバーサルツーリズムへの対応強化など訪問客の利便性を高める取組みを進めます。

C1 長崎駅を拠点とした周遊しやすい環境整備

① 観光・交通案内機能やサービスの充実

(1) 観光案内のコンシェルジュ機能強化

多言語対応やユニバーサルツーリズム対応について充実を図るとともに、近隣自治体の観光案内も強化し、観光案内のワンストップによるコンシェルジュ機能を高めます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
仮設案内所の設置	新長崎駅の整備に伴い、新たな建物内へ移転するまでの間、新在来線高架下コンコース内へ仮設案内所を設置し運営します。	長崎市 (観光政策課)	JR九州
新観光案内所の設置	新長崎駅開業に合わせ、総合観光案内所を新駅舎に移転整備します。	長崎市 (観光政策課)	JR九州
観光案内のワンストップによるコンシェルジュ機能の向上	・英語が堪能な職員を、常時1人以上配置し外国人観光客への対応を充実するとともに、ユニバーサルツーリズム対応の充実を図ります。 ・近隣自治体の観光パンフレットを設置し案内することで、県内の周遊強化を図ります。 ・訪問客の移動に係る負担軽減と回遊性を高めるため荷物を宿泊施設に配送する「手ぶらで観光」を実施します。 ・ICTを活用した観光案内など訪問客の利便性向上を図ります。	DMO 民間事業者	長崎市 (観光政策課)

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
仮設案内所の設置	運　営 →	運　営 →		
新観光案内所の設置	基本設計	整備工事	運　営 →	運　営 →
ワンストップ機能の向上	実　施 →	実　施 →	実　施 →	実　施 →

(2)　二次交通案内等の充実・強化

訪問客がストレスなく円滑に、新幹線からバス、タクシー、路面電車などの二次交通に乗換えられるよう、駅前広場を整備し、乗り場へ迷わず誘導する案内板を設置するとともに、駅周辺の観光施設へ誘導する案内板を設置します。

また、交通事業者と連携し、主要観光施設付近を通過するバスには観光施設名を表示するなど、訪問客が公共交通機関を安心して利用できる環境整備に取り組みます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
駅前広場の整備・案内板の設置	・訪問客が円滑に二次交通に乗換えられるよう駅前広場を整備します。 ・二次交通乗り場や二十六聖人殉教地など駅周辺の観光施設に誘導する案内板を設置します。	長崎市 (長崎駅周辺整備室)	長崎県 交通事業者
バスの表示改善	主要観光施設付近を通過するバスには観光施設名を表示します。	バス事業者	長崎市 (都市計画課)
電車やバス停留所の表示改善	電停やバス停留所へのナンバリングや系統番号の見直しなど、表示の改善を行います。	交通事業者	長崎市 (都市計画課)

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
駅前広場の整備・案内板の設置	工　事	工　事	暫定供用(一部工事)	供　用
バスの表示改善	事業者と協議	事業者と協議	事業者と協議を図りながら随時実施	事業者と協議を図りながら随時実施
電車やバス停留所の表示改善	事業者と協議	事業者と協議	事業者と協議を図りながら随時実施	事業者と協議を図りながら随時実施

(3)　円滑な国道の横断

西坂地区や駅前商店街等への訪問客の利便性や回遊性の向上を図るため、国道横断デッキにエレベーター等を設置し、駅前の国道横断を円滑にします。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
国道横断デッキへのエレベーター等の設置	国道横断デッキにエレベーター等を設置し、円滑な国道横断を図り、西坂地区や駅前商店街等への訪問客の利便性向上及び回遊ルートの創出に繋げます。	長崎市 (長崎駅周辺整備室) 長崎県	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
国道横断デッキへのエレベーター等の設置	設　計	工　事	工　事 → 供　用	供　用

② 二次交通の充実・強化

(1) 市内交通ネットワークの利便性向上

主な公共交通機関において、全国相互利用可能な交通系ICカードが利用できるシステムを導入するとともに、新たなバス路線の運行や車両の位置情報等を表示するロケーションシステムの導入等を交通事業者に働きかけます。また、交通事業者や観光施設等と連携し、市内周遊パス等を導入し、訪問客の利便性向上を図ります。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
全国相互利用交通系ICカード利用システムの導入	全国相互利用可能な交通系ICカードが利用できるシステムを導入します。	交通事業者	長崎市 (都市計画課)
新規バス路線運行の働きかけ	二次交通として利便性の高い新規バス路線等の運行を交通事業者に働きかけ、利便性向上に向け、随時見直しを促します。	長崎市 (都市計画課)	交通事業者
ロケーションシステムの導入の働きかけ	バス停や電停に遅延情報や位置情報等の動的情報を表示するロケーションシステムの導入を交通事業者に働きかけます。	長崎市 (都市計画課)	交通事業者
周遊パスの導入	市内周遊を促進するため、交通事業者や観光施設等と連携して、利便性の高い周遊パスを導入します。	DMO	交通事業者 観光施設他

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
全国相互利用交通系ICカード利用システムの導入	運　用 →			
新規バス路線運行の働きかけ	【駅西口】事業者と協議を図りながら随時実施するとともに、必要に応じて見直し →			
	【駅東口】事業者と協議 →		【駅東口】実施 →	
ロケーションシステムの導入の働きかけ	事業者と協議 →		事業者と協議を図りながら随時実施 →	
周遊パスの導入	企画・検討 →		導　入 →	

(2) 路面電車長崎駅前停留所のバリアフリー化

長崎県と連携して路面電車長崎駅前停留所にエレベーターを設置するなどのバリアフリー化を推進し、高齢者や身体障がい者、荷物の多い訪問客等の利便性向上に取り組みます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
路面電車長崎駅前電停へのエレベーターの設置	路面電車長崎駅前停留所にエレベーターを設置し、バリアフリー化を推進します。	長崎県	長崎電気軌道株式会社 長崎市 (長崎駅周辺整備室)

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
路面電車長崎駅前電停へのエレベーターの設置	設　計 →	工　事 →		供　用 →

基本方針Ｄ　訪問客の満足度向上
～楽しい時間を過ごしてもらおう！～

新幹線開業による効果を継続的に高めていくには、訪問客の滞在時間を延ばし、消費拡大を促す取組みが重要です。そのためには、おもてなしの向上を図るとともに、訪問客が滞在を楽しむ環境づくりや多様な資源を活かした魅力づくりが欠かせません。

このような取組みには、民間事業者の積極的な関わりが必要であることから、官民一体となって、「ながさきの食」を楽しむ機会の充実や、決済環境の改善やユニバーサルデザインの導入強化など誰もが快適に滞在できる環境づくり、宿泊増につながる夜型・朝型コンテンツの充実など長崎の有形・無形の資源を活かした魅力づくりを行うことで、訪問客の滞在満足度を高めていきます。

D1 新幹線で訪れる方への徹底したおもてなし

① 訪問客を明るく迎え入れる環境づくり

(1) 魅力的な駅前空間の整備

長崎駅舎及び駅前広場、出島メッセ長崎、JR九州新駅ビル、駅前商店街等が一体となったおもてなし空間の充実を図るとともに、賑わいを生み、市内への周遊を促すような民間事業者等の取組みを支援します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
長崎駅舎及び駅前広場の整備	長崎の陸の玄関口にふさわしい長崎駅舎及び駅前広場を整備します。	長崎県 長崎市 （長崎駅周辺整備室） 鉄道・運輸機構 JR九州	
出島メッセ長崎の整備における新長崎駅等との連携	「出島メッセ長崎」の整備において、新長崎駅と直結するペデストリアンデッキを設置します。 駅舎や駅前空間とサインの整合を図り、一体的に訪問客を迎える環境を整えます。	長崎市 （交流拠点施設整備室）	株式会社ながさきMICE JR九州
商店街や民間事業者の取組み支援	商店街や商業者が実施する、商店街の活性化や周遊を促す取組みを支援します。	長崎市 （商工振興課） 商工会議所	商店街 民間事業者

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
長崎駅舎及び駅前の整備	工　事	工　事	暫定供用（一部工事）	供　用
出島メッセ長崎の整備における新長崎駅等との連携	整　備	整　備		
商店街や民間事業者の取組み支援	実　施	実　施	実　施	実　施

(2) 心を込めたおもてなし

観光列車到着時に、季節感や長崎らしさを感じられる歓迎イベントを開催するとともに、MICE開催に合わせた歓迎看板やバナー等を掲示するなどおもてなしの充実を図り、訪問客の満足度向上につなげます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
歓迎イベントの開催	新幹線開業時や観光列車就航時などお出迎えイベントを実施します。	長崎市 (観光推進課)	JR九州
歓迎看板・バナー等の設置	国際会議・学会や一定規模以上のコンベンションの開催時に、長崎駅やまちなかなどに看板やバナーを設置し、まちを挙げてMICE参加者を歓迎します。	DMO	株式会社ながさきMICE 長崎市 (交流戦略推進室)
MICEサポートボランティア制度の創設・人材育成	MICEの開催を支援するボランティアの仕組みをつくり、国内外からの参加者のおもてなしに対応できる人材を育成します。	DMO	株式会社ながさきMICE 長崎市 (交流戦略推進室)

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
歓迎イベントの開催		必要に応じて実施 →	→	→
歓迎看板・バナー等の設置	実　施 →	→	→	→
MICEサポートボランティア制度の創設・人材育成	検討・準備	実　施 →	→	→

② 「ながさきの食」を楽しむ機会の充実

(1) 食を楽しむ環境づくり

長崎駅広場等において、食を楽しむイベントを開催するとともに、ホームページ等での情報発信の充実を図り､訪問客に｢ながさきの食｣を気軽に味わってもらうための環境づくりに取り組みます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
食を楽しむイベントの開催	民間事業者と連携し、長崎駅広場等において、四季折々の「ながさきの食」を楽しむイベントを開催する。	DMO	民間事業者
食を気軽に楽しむ環境づくり	長崎の食材を楽しめる店舗の案内と、顕在化を実施します。	長崎市 (観光推進課) (水産農林政策課) 出島ばらいろ消費拡大実行委員会	民間事業者
長崎「食」の博覧会開催	例年、駅前広場で開催している、長崎「食」の博覧会で、長崎の「食」の魅力を訪問客にPRします。	長崎「食」の博覧会実行委員会	民間事業者
飲食店等でのMICE参加者に対するサービス提供	商店街や飲食店等と連携し、MICE参加者向けに特別なサービスや割引を提供することで、ながさきの食と滞在を楽しむ仕組みづくりを行います。	DMO	民間事業者 長崎市 (交流戦略推進室)

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
郷土料理の提供	実　施			
食を気軽に楽しむ環境づくり	実　施			
長崎「食」の博覧会開催	実　施			
飲食店等でのMICE参加者に対するサービス提供	システム構築	実　施		

D2 滞在環境の充実

① 安心・快適に滞在できる環境づくり

(1) 快適に滞在できる環境づくり

民間事業者や関係機関と連携して、無線LAN環境の整備、多言語表記の充実、キャッシュレス決済対応、バリアフリー対応、ユニバーサルデザインの導入強化を図り、誰もが安心して快適に滞在できる環境を整えます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
ストレスフリーの環境整備	無線LAN環境の整備、多言語表記の充実、キャッシュレス決済対応、バリアフリー対応、ユニバーサルデザインの導入等ストレスフリーの環境整備を推進します。	民間事業者 DMO 長崎市 (観光推進課) (商工振興課)	商工会議所
商店街や民間事業者の取組み支援	商店街等が実施する共同施設整備の取組みや、民間事業者が実施する多言語化や決済端末の導入等の取組みを支援します。	長崎市 (商工振興課)	商店街等 商工会議所

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
ストレスフリーの環境整備	実　施			
商店街や民間事業者の取組み支援	実　施			

② 外国人観光客向けサービスの充実

(1) 外国人受入対応の強化

外国人観光客が一人でもまち歩きや滞在を楽しめるよう、多言語やピクトグラムを活用した観光案内版を整備するとともに、民間事業者が行う外国人受入対応強化のための取組みを支援します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
観光案内看板の多言語化・ピクトグラム化	長崎県と連携して、観光案内板の多言語化・ピクトグラムを使用し、外国人観光客にもわかりやすい看板になるよう整備します。	長崎市 (観光推進課)	長崎県
民間事業者の取組み支援	民間事業者が実施する外国人対応の取組みを支援します。 また、飲食店に対しては、多言語メニュー作成支援ウェブサイト「EAT長崎」の活用促進を図ります。	長崎市 (商工振興課) 商工会議所 長崎国際コンベンション協会	民間事業者

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
市内観光案内看板の多言語化・ピクトグラム化	準　備	準　備	整　備	整　備
民間事業者の取組み支援	実　施	実　施	実　施	実　施

D3 観光コンテンツの魅力向上

① 歴史文化資源の磨き上げ

(1) 2つの世界遺産

「明治日本の産業革命遺産」、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の整備とPRに努めます。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
構成資産の整備	「明治日本の産業革命遺産」及び「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産を適切に保存管理するため、整備活用計画に基づいて整備を行います。	長崎市 (世界遺産室)	国 長崎県 所有者
周知用パンフレット等配布	「明治日本の産業革命遺産」及び「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の周知啓発のため、パンフレット等の配布物を作成し、各所で配布します。	DMO	長崎県 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会
2つの世界遺産のPR	2つの世界遺産を有する魅力あるまちであることを発信します。	DMO	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
構成資産の整備	整備事業 →			
周知用パンフレット等配布	作成・配布 →			
2つの世界遺産のPR		実　施 →		

（2）出島

長崎の歴史の象徴である出島の復元を推進します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
出島第Ⅳ期復元建造物の建造	平成12年以降、これまで復元したカピタン部屋、ヘトル部屋ほか計16棟に引き続き、出島町人部屋の復元を新たに行います。	長崎市 （出島復元整備室）	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
出島第Ⅳ期復元建造物の建造	事前準備 →		基本設計 →	実施設計・工事 →

② ハードの整備・磨き上げ

（1）夜景観光の推進

夜のまち歩きを楽しむための「中・近景の夜間景観づくり」や視点場から見る夜景の魅力を高めるための「遠景の夜景みがき」の夜間景観整備を推進します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
夜間景観整備	「中・近景の夜間景観づくり」は、歴史的建造物や観光施設等のライトアップとそれらをつなぐ回遊路の街路灯等の整備を行い、「遠景の夜景みがき」は、夜景の中に長崎らしい星座や形を光で表現した演出照明の整備を行います。	長崎市 （景観推進室）	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
夜間景観整備	実施設計・工事 →			

(2) 居留地

南山手、東山手地区の洋館の整備・活用を推進します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
伝統的建造物（旧杠葉本館ほか）保存整備	伝統的建造物である旧杠葉本館及び旧杠葉氏宅の耐震対策を含めた保存整備を行います。	長崎市（文化財課）	
伝統的建造物（マリア園）保存整備	伝統的建造物であるマリア園の耐震対策を含めた保存整備を行います。	民間事業者	長崎市（文化財課）
国重文旧グラバー住宅保存整備	国指定重要文化財旧グラバー住宅について、施設利用者の安全を確保するため、耐震補強を含めた保存修理工事を行います。	長崎市（文化財課）	
国重文旧オルト住宅保存整備	国指定重要文化財旧オルト住宅について、施設利用者の安全を確保するため、耐震診断を行い、その後、補強設計と保存修理を含めた耐震補強工事を行います。	長崎市（文化財課）	
国重文旧リンガー住宅保存整備	国指定重要文化財旧リンガー住宅について、施設利用者の安全を確保するため、耐震診断を行い、その後、補強設計と保存修理を含めた耐震補強工事を行います。	長崎市（文化財課）	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
伝統的建造物（旧杠葉本館ほか）保存整備			整備工事	→
伝統的建造物（マリア園）保存整備	準　備	整備工事	→	→
国重文旧グラバー住宅保存整備	整備工事	→		
国重文旧オルト住宅保存整備	耐震診断		整備工事	→
国重文旧リンガー住宅保存整備				耐震診断

(3)　中島川周辺

町家の保存、まちなみの修景整備を推進し、中島川・寺町における歳時を顕在化します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
中島川・寺町地区まちなみ整備助成制度	町家等が多く、長崎の和風の文化を色濃く残す中島川・寺町地区において、町家等を活かしたまちなみづくりを進めるため、既存の町家の維持、保全及び復元のための工事や、町家以外の建物等で町家風外観形成に係る工事の経費の一部について助成を行います。	長崎市 (まちなか事業推進室)	
歳時の顕在化	夏に中島川沿いで行われる「長崎夜市」や秋に月見を行う「十三夜」などの歳時を継続して顕在化していくことで、地域の賑わいを創出します。	長崎市 (まちなか事業推進室) 自治会	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
中島川・寺町地区まちなみ整備助成制度	実　施 →			
歳時の顕在化	実　施 →			

(4)　長崎駅多目的広場の整備・活用

長崎駅多目的広場を伝統芸能や文化活動を披露する場所として整備し、活用します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
多目的広場の整備	多目的広場をおくんちの練習、観覧場所として整備し、伝統芸能や文化を発信する場として活用を図ります。	長崎市 (長崎駅周辺整備室)	

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度(開業)	開業後
多目的広場の整備	工　事 →		暫定供用 (一部工事)	供　用

③ ソフトの磨き上げ

(1) 周遊を促す仕掛けづくり

訪問客が、駅周辺のみならず市内各所へ足を運び、滞在を楽しんでいただけるよう、体験型コンテンツの充実を図ります。また、まち全体でMICEを受け入れ、MICE開催前後に参加者や同伴者の周遊・滞在を促すための体験等をメニュー化します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
体験型コンテンツの充実	民間事業者と連携し、地域資源を活かした体験型コンテンツを企画・造成します。	DMO	民間事業者
ユニークベニュー、周遊・滞在プログラムのガイド整備	MICE主催者や参加者向けに、レセプション会場として活用できる歴史的建造物や、国内外からの訪問客が周遊や滞在を楽しめる体験プログラムに関するガイドブックを整備するとともに実証・実施していきます。	DMO	長崎市 （交流戦略推進室）
まちぶらプロジェクトの各エリアの情報発信	市民や観光客に対し、各エリアのマップやSNS、QRコード等を利用しまちなかの魅力の発信を行います。	まちなか事業推進室	市民やグループ、企業など

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
体験型コンテンツの充実	企画・造成	実　施	実　施	実　施
ユニークベニュー、周遊・滞在プログラムのガイド整備	ガイド整備・実証	ガイド整備・実証	実　施	実　施
まちぶらプロジェクトの各エリアの情報発信	準　備	実　施	実　施	実　施

(2) 夜景観光及びナイトタイムエコノミーの推進

民間事業者と連携し、夜型・朝型（早朝）の観光コンテンツを充実させ、長崎の新たな楽しみを創出する取組みを支援します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
長崎の新たな夜の楽しみを創出する取組みへの支援	ナイトタイムエコノミー（夜間の経済活動）を推進する組織を設置し、民間団体等が行う夜ならではの消費活動や魅力の創出につながる継続性のある事業・コンテンツの開発や実施に向けた取組みを支援します。	民間事業者 長崎市 （産業雇用政策課）	DMO 商工会議所
新たな観光資源の魅力発信	夜景観光やナイトタイムエコノミーを促進するため夜の新たな観光資源の発信に努めます。	DMO	
夜景観光の推進	令和3年度に「世界夜景サミット」を長崎市に誘致し、「長崎の夜景」を世界中に発信します。	夜景観光コンベンション・ビューロー	長崎市 （観光政策課）

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
長崎の新たな夜の楽しみを創出する取組みへの支援	実　施 →			
新たな観光資源の魅力発信	実　施 →			
夜景観光の推進（世界夜景サミット誘致）	誘　致 →	開 催		

(3) 出島メッセ長崎へのイベント等の誘致

施設運営者等と連携し、展示会、イベント等を誘致します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
展示会、イベント等の誘致	食やファミリー向けのイベントなど、これまで長崎で開催できなかった集客力のある展示会、イベント等を誘致します。	株式会社ながさきMICE	DMO 長崎市 （交流戦略推進室）

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
展示会、イベント等の誘致	セールス・プロモーションの実施 →			

(4) 市民・民間と連携したまちなかの魅力づくり

市民や民間団体など多様な組織と連携を図りながら、まちなかの魅力をつくります。

「まちなか賑わいづくり活動支援事業」により、まちなかの賑わいを創出する活動を支援します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
まちなか賑わいづくり活動支援事業	歴史や文化に加え、商業、観光及び食など、広い分野で地域の魅力を高める取組みや、その魅力を発信する取組みなど、まちなかの賑わいを創出する提案事業を募集し、主体的・継続的な取り組みにつなげてもらえるよう、活動の初動時期を支援します。	長崎市 （まちなか事業推進室）	市民やグループ、企業など

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
まちなか賑わいづくり活動支援事業	実　施 →			

基本方針Ｅ　産業の振興

～ビジネスの拡大につなげよう！～

新幹線開業により、県内での滞在可能時間は1時間程度長くなると見込まれており、消費の拡大が期待されるだけでなく、交流人口が増加することで、新たなビジネスチャンスが生じる可能性も高まります。

先に開業した地域では、開業を機に新たなお土産の開発や企業間交流を活発にした結果、売り上げが大幅に伸びた企業の事例がありました。

このように、民間事業者が新幹線開業をビジネスチャンスとして捉え、商品開発や新たなサービスの提供など事業や販路の拡大に向けて意欲的に活動することが重要です。

こうした民間事業者の前向きな取組みを後押しすることで、モノ・サービスの販売促進や販路拡大につなげ、経済活性化を図っていきます。

Ｅ1　ビジネスの拡大促進

①　特産品や食材の認知度向上と販売促進

（1）　関係機関と連携した新商品の開発やPR

新幹線開業を見据えて、水産農林・商工連携による新商品の開発を促進します。また、県と連携し、新幹線開業にあわせて、まちなかや駅前等で特産品や県産食材のPRイベントを集中的に実施します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
新商品の開発	長崎の「食」の魅力の発信と、地元産農水産物の消費拡大を図るため、新商品を開発します。	民間事業者	長崎市 （水産農林政策課）
PRイベントの実施	県と連携し、まちなか、駅前等で特産品や地元食材をPRするイベントを実施します。	長崎県 長崎市 （水産農林政策課）	民間事業者

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
新商品の開発	開　発 →	開　発 →	販　売 →	販　売 →
特産品や地元食材のPRイベントの実施	協議・準備 →	協議・準備 → 実　施 →	実　施 →	

② 企業活動の活性化

(1) ビジネス交流機会の拡大・創出

経済界や出島メッセ長崎の施設運営者等と連携し、展示会や商談会等を積極的に誘致し、国内外の企業と市内企業との交流の機会を創出し、ビジネスチャンスを拡大します。また、MICE開催に伴い、MICE参加企業・団体等と市内民間事業者とのBtoBの商談や、MICE参加者に対するBtoCの交流・販売促進の機会を創出します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
展示会・商談会等の誘致・創出	観光、漁業、造船など長崎の産業振興に資する展示会・商談会等を誘致・創出します。	DMO 株式会社ながさきMICE	長崎市 （交流戦略推進室） 経済界
商談会等ビジネス機会の創出	MICE開催に伴い、関係企業間におけるネットワークを構築する機会を設け、新たな市場の開拓や取引拡大につなげます。	DMO	長崎市 （交流戦略推進室） 民間事業者

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
展示会、商談会等の誘致	実　施 →			
商談会等ビジネス機会の創出	セールス・プロモーションの実施 →			

③ 新たなビジネスの誘致

(1) 新たなビジネスの誘致

長崎市の強み（IT関連の人材の創出、自然災害の少なさ）を市外企業にPRし、企業誘致を推進します。

具体的取組	内　容	実施主体	連携団体
企業立地推進事業	関係機関と連携し、企業訪問活動等の企業誘致活動を行うほか、企業立地奨励制度による助成を行います。	長崎市 （産業雇用政策課）	長崎県 長崎県産業振興財団

スケジュール	2020年度	2021年度	2022年度（開業）	開業後
企業立地推進事業	実　施 →			

長崎市新幹線開業アクションプラン

長崎市文化観光部観光政策課
〒850-0031
長崎市桜町 4-1(長崎商工会館 4 階)
電話番号　095-829-1152
FAX 番 号　095-829-1232

発行：令和 3年 3月